

「令和7年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.9)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和7年8月5日～9日（5日間）

研修先：農事組合法人となん（盛岡市）

■ 研修生について

岩手県内在住のOさんは、農業を生業としてゆくゆくは独立したい。農家の1日の流れ、1年の流れ、作業の大変さ、楽しさを知りたい。また、知識や技術をどのようにつけていくか。1人前になるのに何年かかるかを知りたいとインターンシップコースにお申込みいただきました。ご本人の意向により、顔にマスクしています。

■ 研修先の概要

経営面積は、水稻（主食用 710ha、加工用 53ha、米粉用 6ha、飼料用 37ha）、小麦 99ha、大豆 1ha、加工用トマト 1ha を作付し、生産・販売しています。

営農や行事を協力し合いながら行う「ぐるみ型」の集落営農を展開し、組合員が管理できない農地は、同組合職員が「直営」で耕作しています。

また、新規就農者確保のため、就農希望者に研修を受けさせながら、自営就農への支援をしています。

【HP】 <https://tonan-agricoop.jp/>

■ 研修の内容

ガイダンス、枝豆・ブルーベリー収穫、玉ねぎ選果、精米作業・納品業務、大根播種、ブロッコリー定植、管内案内、トラクタでの耕起作業と様々な研修を実施しました。



■ 研修の感想

- ・ 体を動かして疲れは溜まったが、こういう疲れは、「いいなあ。」と感じたし、自分にはあっていると思いました。
- ・ 新規就農に向けての進め方のお話を聞くことができて、勉強になりました。



■ 今後について

- ・ 今までの仕事は頭を使ってしてきたが、これまでの経験も生かして、自分なりのやり方を見つけて行きたいと思います。
- ・ また、新規就農には、自己資金も必要と分かりましたので、資金と経験値も積み上げて行きたいと思います。